



空知川堤防決壊(北海道)H28.8



鬼怒川堤防決壊(茨城県)H27.9



那賀川氾濫(徳島県)H26.8

“水害に強いまちづくり”のための 住民タイムライン作成と重点対策 ～私たちが出来ることから、始めよう～

第5回 水害に強いまちづくりワークショップ
平成29年1月15日

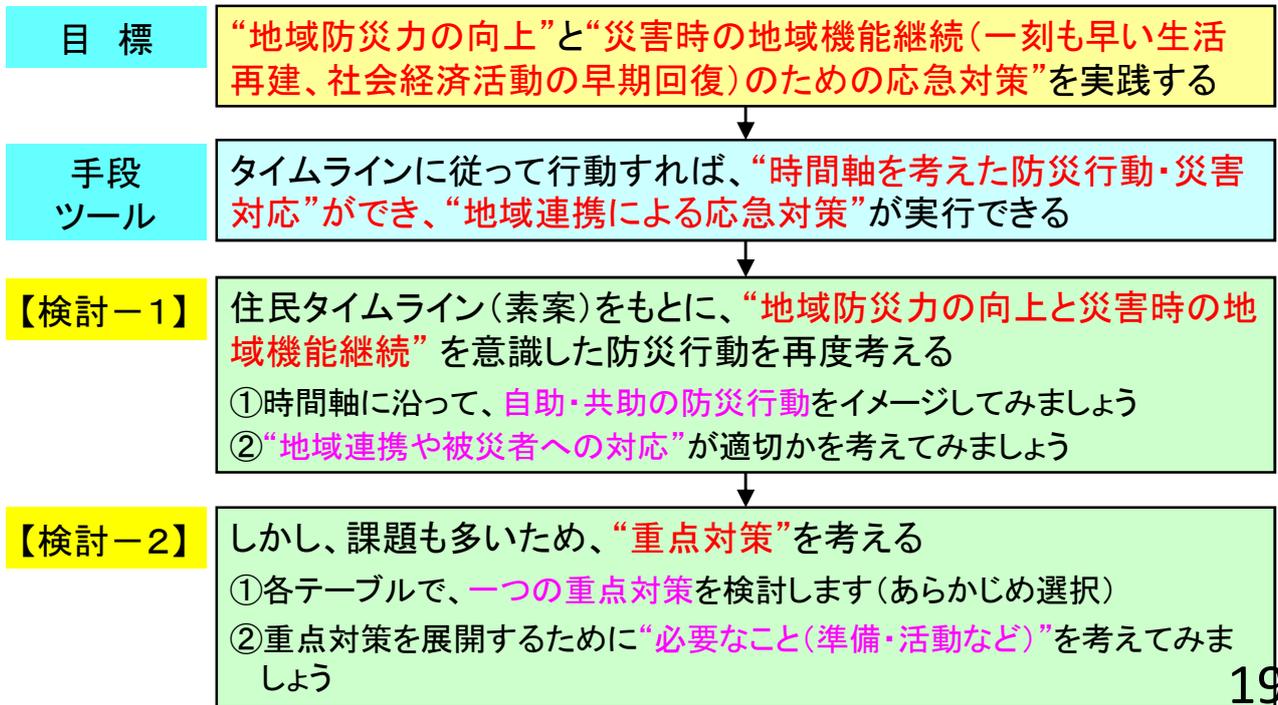
17

ワークショップ検討の進め方

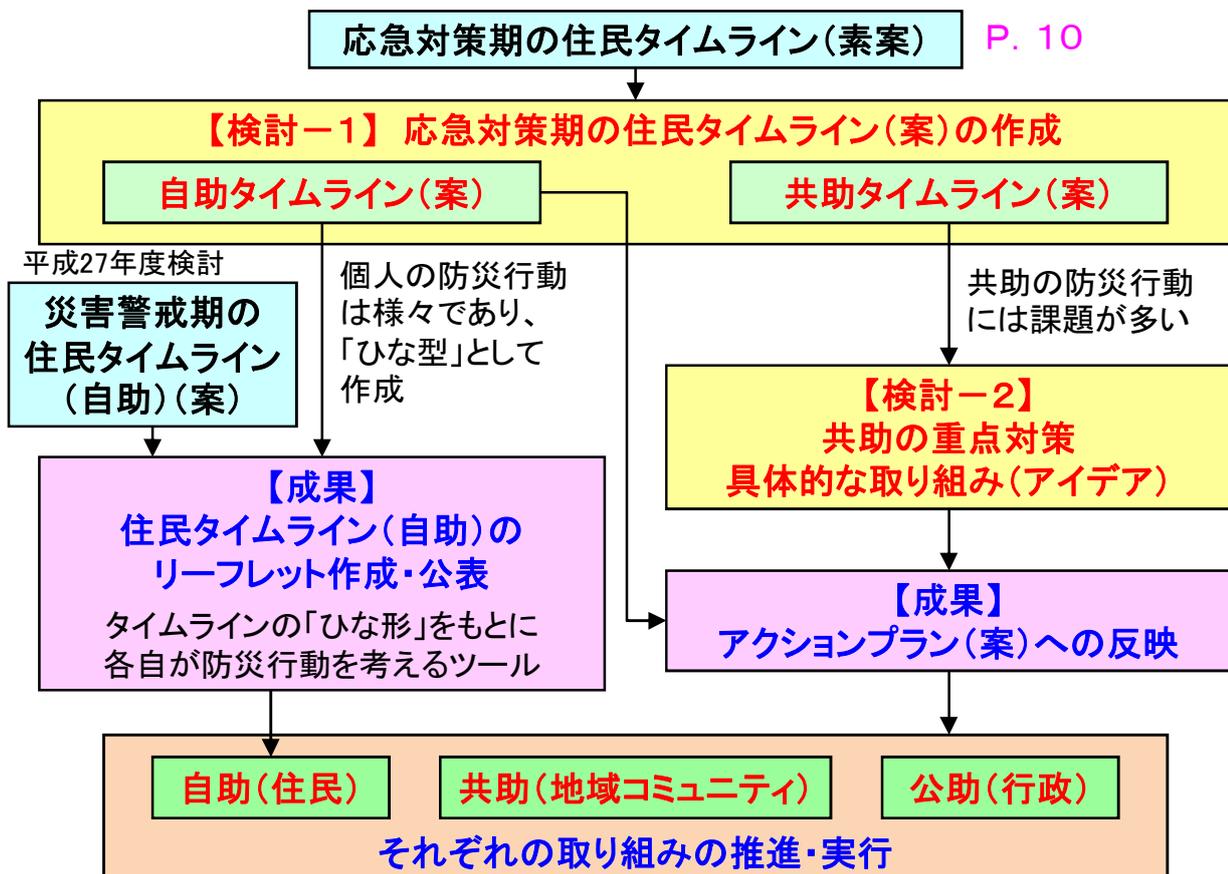
- | | |
|---|-----|
| 1) 概要説明
①ワークショップ検討の進め方と成果
②チェックイン (各テーブル) | 15分 |
| 2) 検討-1 【住民タイムライン(素案)の検討】
①検討の内容: 住民タイムライン(素案)の確認と修正
②検討の方法: タイムラインシートに記入、意見カードに記入 | 45分 |
| <休憩> | 10分 |
| 3) 検討-2 【共助による重点対策の具体的な取り組み検討】
①検討の内容: 重点対策3項目から1項目を検討
重点対策を展開するために必要なこと(準備・活動内容をアイデア出し)
②検討の方法: 意見カードに記入、意見カードの分類 | 50分 |
| 4) 全体ふり返し
①テーブル発表 ②本日のまとめ ③チェックアウト (各テーブル) | 30分 |
| 5) おわりに
①今後の予定 ②丸亀市挨拶 ③主催者閉会挨拶(事務局) | 5分 |
| | 18 |

ワークショップ検討の内容

＜検討テーマ＞：“水害に強いまちづくり”のための
 住民タイムライン作成と重点対策
 ～私たちが出来ることから、始めよう～



ワークショップ検討の流れと成果



住民タイムラインのリーフレットのイメージ

【基礎情報】

土器川の特徴
地域の特性

防災行動
の留意点

避難の目安
(避難のきっかけ・タイミング)

【ひな形】

**住民タイムライン
(自助)の「ひな形」
災害警戒期～応急対策期**

- ①情報収集
- ②避難の準備
- ③家族との連絡
家族の安否確認
- ④自宅の水防活動
自宅の片付け・修理
- ⑤早めの避難行動
避難行動
緊急避難行動
- ⑥避難者の生活

【各自で記入】

**自分のタイムライン
を考えて見ましょう**

- ・「ひな形」の①～⑥を参考に、一連の防災行動を考える
- ・複合災害(河川氾濫、内水氾濫、土砂災害など)を踏まえて、避難行動(避難の目安、避難先)や被災後の対応を考える

第1回～第5回ワークショップで意見集約した結果(ピンク色の項目は、応急対策期の関連項目)

アクションプラン【防災行動計画(案)】の重点対策

平成26～27年度 検討の 重点対策	検討 テーマ	重点対策	<H26検討>	
			公助(行政)による具体的な行動内容(準備・手順)	共助(地域コミュニティ)による具体的な行動内容(準備・活動)
住民意見の 追加反映 (地域住民 と地域行政 の連携)	テーマ1 【情報】 住民目録 での災害 情報のあり 方	1) 土器川水位・危険情報 表示板の設置	①下流での基準水位観測所(丸亀橋)の設定 ②避難時間を確保するための水位予測手法の検討(土器川本川および支川) ③危険情報の表示方法の検討	
	テーマ2 【連携】 地域コ ミュニティ の活性化 と地域連 携体制の 強化	2) 一時避難場所(3階建 て以上)の設定	①事前調査:3階建て以上の建物調査 ②現地調査:住民意見の聞き取り調査、まち歩き ③一時避難場所の設定	
	3) 防災士等と連携した地 域防災リーダー育成、 地域防災力向上の仕 組みづくり	①地域防災リーダーの人选 ②地域防災リーダーの育成 ③地域防災力向上の仕組みづくり	④地域コミュニティの組織体制の見直し ⑤交流活動の実施/イベントの活用 ⑥広報活動の実施/メディアの活用	
	4) 防災関係機関と地域コ ミュニティが連携した防 災教育・訓練の仕組 みづくり	①防災担当の配置 ②防災教育の実施 ③防災訓練の実施	④防災活動・防災訓練の実施 ⑤交流会・勉強会の実施	
	5) 災害時要配慮者や避 難者の避難支援体制 の整備	①災害時要配慮者リストの整備 ②地域連携による対応		
	6) 地域コミュニティや自主 防災組織の横の連携 強化		①連絡網・連絡手段の確保 ②学校や事業所との連携 ③役割分担の設定/担当者の確保	
	7) 地域コミュニティや自主 防災組織を活性化す るための仕組みづく り		①自治会に加入していない住民への対応/自主防災組織による対応	
	8) 防災関係機関と地域コ ミュニティが連携した情 報共有の仕組みづく り	①事前事後情報の共有手段・内容の詳細設定 ②地域コミュニティの情報伝達体制づくり	③地域情報の周知	
	9) 事業所との連携強化 (物資・食料、災害時 対応協定等)		①協議会の設置 ③避難支援・避難誘導の方法 ⑤災害復旧の支援	②資機材や場所の提供 ④BCP対応と地域支援の配分調整

注) 赤字は、H27検討により追加した項目

平成28年度検討(応急対策期の防災行動)
【検討-2】「共助による重点対策の具体的な取り組み検討」
で検討した取り組み内容(アイデア)

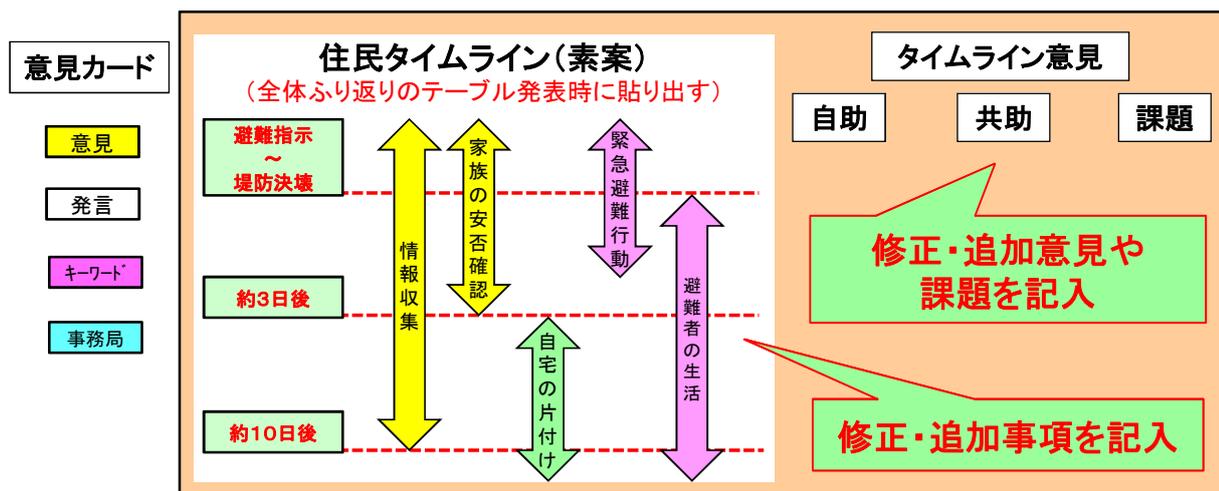
【検討－1】住民タイムライン（素案）の検討

～“地域防災力の向上と災害時の地域機能継続”

を意識した防災行動をもう一度、考えてみましょう～

- ①時間軸に沿って、自助・共助の防災行動をイメージする
- ②自分の住まいや職場を基準にして、“地域連携や被災者への対応”が適切かを考える

◆タイムラインシートに記入、意見カードに記入



23

【検討－1】住民タイムライン（素案）の検討

<検討手順>

①タイムライン(素案)の構成を確認

- ・時間軸、各種情報(危険情報、災害情報、避難情報、応急対策活動、ニュース情報)、自助タイムライン、共助タイムライン(地域コミュニティ、事業所)

②“避難行動や連携体制”に着目し、記述内容を確認

- ・自助: 緊急避難行動(逃げ遅れ)、被災者の生活
- ・共助: 連絡網の再確認/連携体制の強化、避難所運営、緊急避難誘導(近隣の呼びかけ)、災害時要配慮者や被災者への対応、BCP対応/地域コミュニティとの対応

③防災行動についての意見交換 (タイムラインシートに記入、意見カードに記入)

- ・防災行動の項目や時間軸は適切か
- ・記述内容について修正や追加はないか
- ・事前に準備・対応が必要と考えられる項目に「赤シール」を貼り付け
- ・防災行動を実行する上での課題はないか

24

【検討－２】 共助による重点対策の

具体的な取り組み検討

～各テーブルで、重点対策を検討します～

- ・第4回ワークショップの意見を踏まえて、重点対策3項目の中から、テーブル毎に1項目を検討(あらかじめ事務局にて選択)

テーブル	重点対策3項目 (共助による取り組みが必要な3項目)	意見が出た テーブル
1	<p>地域コミュニティにおける横の連携体制(連絡体制)を強化するためには</p> <p>【対象】: 地域コミュニティ、自治会、自主防災組織、水防団(消防団)、医療・福祉関係者、学校関係者、女性、学生、香川県防災士会など</p> <p>【内容】: 連絡網、名簿リスト、役割分担、ニーズ調査、交流など</p>	1, 2, 3
2	<p>地域連携(防災関係機関、地域コミュニティ)による情報共有の仕組みを作るためには</p> <p>【内容】: 双方向、防災行政無線、ツイッター、被災情報、復旧情報、リアルタイム情報、予測情報、SOSサインなど</p>	1, 2, 3
3	<p>災害時要配慮者との横の連携体制(支援体制)を強化するためには</p> <p>【内容】: 避難支援、病院搬送、専門士派遣、名簿リスト、支援者、声かけ、応援・協力、単身(高齢)世帯、外国人、ボランティアなど</p>	1, 2, 3

25

【検討－２】 共助による重点対策の

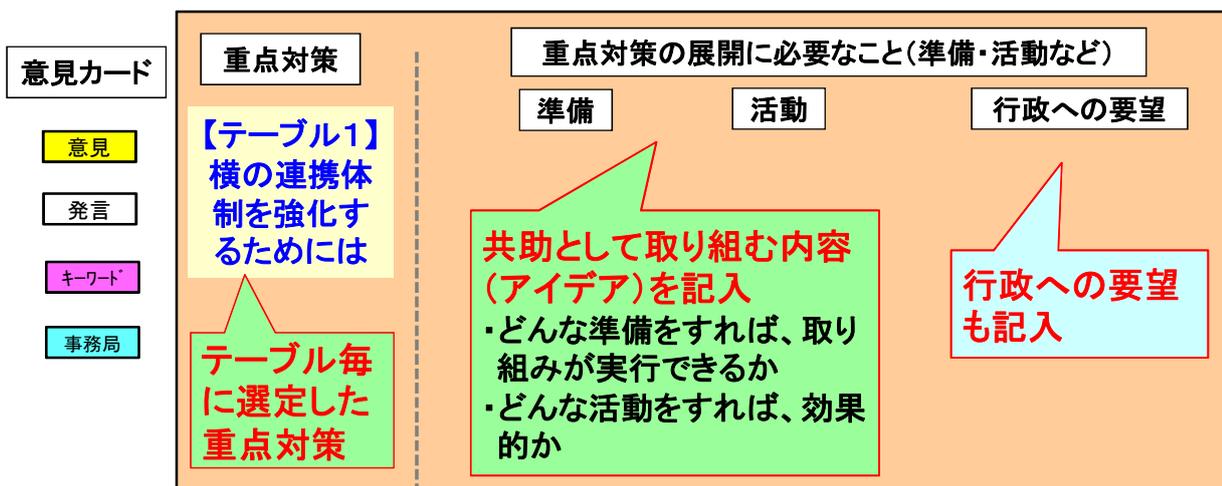
具体的な取り組み検討

～“重点対策”を展開するために

必要なこと(準備・活動など)を考えてみましょう～

- ① 共助(地域コミュニティ)として取り組む内容(アイデア)を考える
- ② 公助(行政)への要望があれば記入する

◆「意見カード」に記入、「意見カード」の分類



26

全体ふり返り

① テーブル発表

- テーブル毎に発表（3テーブル×3分）

② 本日のまとめ

- ふり返り（ファシリテータ）
- 総評（会長）
- ワークショップ検討結果の報告
 - リバーキーパーズ通信、ホームページ等での結果報告
 - 「第6回 土器川における水害に強いまちづくり検討会」での結果報告、アクションプラン(案)への反映
 - 住民タイムラインのリーフレット作成に向けた検討

③ チェックアウト

- 各テーブルで、順番に全員が発言（一人1分以内）